

不思議 金子みすゞ

私は不思議でたまらない、
黒い雲からふる雨が
銀にひかっているのが。
私は不思議でたまらない、
青い桑の葉食っている
かいごが白くなるのが、
私は不思議でたまらない、
誰もいじらぬ夕顔が
ひとりではらりと開くのが。
私は不思議でたまらない。
誰にきいても笑って、
あたりまえだ、とこのことが。

今月は「不思議」という詩を紹介します。

本園が大切にしている5つの心の中には「金子みすゞさんの心」の他に「レイチル・カーソンの心」があります。レイチルの著書「センス・オブ・ワンダー」の中に、『知ることは「感じる」ことの半分も重要ではないと硬く信じています』という一節があります。「感じる」ことはとても大切なことです。

名前を知っている…等の知識よりも、素敵だな、素晴らしい！きれいだな…と感じること、また、通り過ぎてしまう道端の草や、きれいな空…等、気づくことが大切なのではないのでしょうか。

子どもたちの世界は、いきいきとして新鮮で感動に満ちて輝いています。

そして、子どもたちの世界は不思議がいっぱい。

毎日の遊びの中でたくさんの不思議に出会います。

どうしてだろう…不思議に思うと聞いてみたくなったり、調べてみたくなったりすると思います。

子どもが「不思議」に出会ったとき、一緒に不思議だと思っておとなになりたいものです。

どうして？ なんで？

何度も何度も聞いて来る子どもがいます。

時に、二つ返事をしたり、いい加減に答えてしまったりすることもあるでしょう。

本当はすべてに答えてあげたいとは思っているはずですが。

その中の一つだけでも、丁寧に答えてあげる時間を持ちたいものです。

ワンダー wonder → 不思議・神秘的な

たくさんの不思議 wonder に出会い、wonderful 素晴らしく わくわくする毎日を過ごしましょう。



The Sense of Wonder: Poppies